



クラスの様子【3月号】



ひよこ・りすぐみ 今月の目標

『ひよこ・りすぐみで過ごすことのできる残された時間を大切にしていこう。』

令和4年度のひよこ・りすぐみとして過ごす時間も残り1ヶ月となりました。

4月、入園当初と比べるとどの子からもしっかりと成長を感じられ、我々保育士もとても嬉しく感じています。一人ひとりの身体的、内面的な成長はもちろんのこと、子ども達同士の関わりや保育士との触れ合い、言葉でのやりとりがこの頃は本当に多くなり、子ども達の中に“人と関わる力”が育ってくれていることが何よりも良いことだなと感じます。

また、今年度は0、1歳児を合同で保育するという新たな取り組みも行いました。このことがまさに“人と関わる力”に大きく影響していたように感じます。月齢の小さな子が大きな子の姿を見て真似たり、月齢の大きな子が小さな子に対して面倒を見たり、優しく接する姿があったり、0、1歳児合同だからこそ多くの保育士と関わる事ができたり、いくつかのグループに分かれて活動できたりと、子ども達にとって充実した時間の過ごし方ができたように思います。保護者の皆様にもご迷惑をお掛けしたことも多かったかと思いますが、クラスの活動に対してご理解、ご協力を頂き、お帳面等でもいつも温かい言葉を掛けていただき、我々保育士も本当にありがたく感じていました。担任一同、このクラスを受け持つことができ、幸せでした。来年度、子ども達が更なる成長を見せてくれることを我々も楽しみにしています。一年間、本当にありがとうございました。(安田)



うさぎくみ 今月の目標

『1つ大きいクラスになることへの喜びを感じ、期待を持つ。』

2月は子どもたちにとっての大きな行事、生活発表会がありました。リハーサルでは大きなバスに乗り、普段とは違った場所へ行き、ドキドキ・ワクワクする気持ちを味わうことができました。本番は衣装を着て、たくさんのお客さんの前で表現する楽しさを感じ、おうちの方にたくさん褒めてもらいとても嬉しそうな表情を見ることができました。ダンスを楽しむ姿やお友だちとの関わりなど普段の生活の様子を見て頂くとともに、おうちの方と離れて舞台上立つという頑張りや成長も感じて頂けたのではないかと思います。

うさぎぐみで過ごすのも残り1か月となりました。大きいクラスへ無理なく移行していけるよう、お兄ちゃん・お姉ちゃんと一緒に活動をしてみたり、お部屋やトイレなどを使わせてもらったりとゆっくり新しい環境に馴染んでいければと思っています。

「もうすぐ年少さん」と意識している子もいるので、1つ大きくなることへ期待を持てるように伝えていきたいと思っています。(平塚)



年少児 今月の目標

『自分でできる事に自信を持ち、進級への期待を感じながら生活する。』

先日はお忙しい中、生活発表会のご観覧とご協力を頂きありがとうございました。子ども達にとって初めての大きな舞台でしたが、どの子もニコニコ、いきいきと輝いていましたね。2カ月前から少しずつみんなで取り組んできた「てぶくろ」の劇をお家の人に観てもらい、褒めてもらって、とても嬉しそうでした。子ども達の大好きなお話なので役決めやセリフ覚えは思っていたよりもスムーズにいったのですが、練習を進めていく中でセリフのやりとりに集中できずにおしゃべりしたり、ふざけあいっこをしたり、時には喧嘩になったり…と、思うように進んでいかない日もありました。また、子ども達にとっては経験した事がない初めての場所なので想像が難しく、大きな声を出したりお友達と声のタイミングを合わせてセリフを言う事が難しい様子でした。

そんな中で意識が変わる良いきっかけとなったのが、他クラスとの見せ合いっこでした。自分より小さなうさぎ組さんが一生懸命にセリフを言う姿を見たり、大きな年中・年長児達が難しいダンスをしたり、大きく声を揃えて堂々と演じるのを見て「すごいなあ」、「私も頑張る!」と更なるやる気に繋がった様子でした。当日は園のホールとは違い舞台袖から舞台上までの距離が長く、大勢のお客さんに見守られ圧倒したり緊張する姿も見られましたが、年少さんらしいのびのびとした姿や懸命に演じる姿を見てもらえたのではないかと思います。

いよいよ4月からは、異年齢の末っ子から年中のお兄さんお姉さんになります。

自信や喜びを持って新生活に入れるように過ごしていきたいと思っています。(キム)



年中児 今月の目標

『年長児になる事への喜びや期待を感じながら、様々な事に意欲的に取り組む。』

子ども達が楽しみにしていた生活発表会が無事に終わりました。昨年度は、保育園での開催となりましたが、今年は大きな舞台での発表となり、いつもと違った環境の中でも、子ども達は堂々と舞台上に立って演じる事が出来ました。練習が進むにつれて、自分の役だけではなくお友だちの役を遊びの中で演じてみたり、後ろに座っているお友だちもダンスやカラーガードと一緒に楽しむ姿が見られるようになりました。自分の出番ではない時に、舞台袖でこうしてこっそり踊ったりセリフを言ったりする子ども達の姿はありますが、今年の年中児の劇は、あえてオープンにして、バックダンサーとして参加したり、一緒にセリフを言ったりとみんなが舞台上で表現する姿を見て頂きました。

又、『スイミー』のお話を年中児らしくアレンジし、子ども達からセリフの案を出してもらったりと、年中児のみんながこの劇を作り上げてきました。当日はドキドキしたり、ワクワクしたりと子ども達なりに色んな思いがあったかと思いますが、きっとこの経験でまた一つ大きく成長した事だと思います。翌日子ども達に「発表会どうだった？」と聞くと「楽しかったー！！」と嬉しそうな表情で答えてくれました。子ども達が、この発表会に向けて、毎日楽しく練習に取り組んでくれたのが一番だと感じます。来年度はさらに成長した姿をみて頂けると思います。心の温まるご感想を沢山いただきありがとうございました。(坂)



年長児 今月の目標

『就学前に向けて期待を膨らませながら自分で考えて行動できるようにする。お友達や保育士と一緒に残り少ない保育園生活を楽しむ。』

寒い日が続く中、ほっとするような温かい日差しを感じられる日もだんだん増えてきました。

二月は生活発表会がありました。ここ三年は保育園のホールでの発表でしたが、今年は市民会館の大きな舞台での発表会ということで、子どもたちと一緒に一つの劇を作り上げました。劇のほかにもオープニング、エンディングのダンスもあり覚えることが多く大変で辛い時期もあったと思いますが、さすがはライオンさん。全員が一つの目標に向かって最後までやり遂げることができました。これは秋に行った運動会の成果ではないかなと思います。運動会の練習では、はじめ「え～やりたくない」「負けたら嫌やでやらん」など消極的な言葉がとて多かったライオンさん。しかし、何度も何度も取り組むうちに、「リレー走れるようになってきた！」「今度は勝ちたいでもう一回やりたい！」といろんな気持ちの経験を重ね、楽しんで最後までやり遂げることができました。この経験は子ども達を大きく成長させ「一回してみようかな？」「できんかもしれやんけどやりたい！」と何に対しても前向きな気持ちを持てるようにもなりました。実際、発表会でする劇の話をしたときに「え～ダンス～？」と消極的な意見も中にはありましたが、「したくない」という姿はなく何度もみんなで練習を重ねるうちに「踊れるようになったで！」「CD かけて！踊りたい！」とお部屋でも外でもダンスをするようになりました。ダンスに対して苦手意識があった子も「家で練習したで」「これなら踊れる！」と日に日に自信を持ちながら踊る姿があり、子ども達の力に繋がっているようでした。また役を子ども達で決める場面があり採めることもありました。「譲りたくない」という子もいればその姿をみて「じゃあ僕がかわってあげる」とお友達のことを思って自分の気持ちを抑えて譲り、自分の決まった役を最後までやり遂げたりといろんな成長を見ることもできました。今回の劇のテーマは「夢」でした。夢に向かって頑張ること、みんなでしたら大きな力になることを劇を通して子ども達にも伝わっているといいなと思います。これから小学校にあがり色んなことが待ち受けています。でも保育園で経験したいろんなことを思い出して頑張っていってほしいと思います。

そして発表会が終わった後はみんなが楽しみにしていた卒園旅行があり、東員の中部台公園へバスに乗って遊びに出かけました。外で遊ぶことが大好きなライオンさんは、お友達や保育士と汗だくになりながら全力で遊んでいました。シートをしいておにぎりを食べた後は、サッカーをしたい子、散歩に行きたい子、遊具で遊びたい子の3つのグループに分かれて遊びました。「公園にきたんだから遊具で遊ぶ」という固い考えではなく、自分たちで何がしたいかを考えて選択し、それを楽しむ姿があり子どもならではの柔軟な考えに感心しました。残念ながらお休みの子もおり、ライオンさん全員でのお出かけとはなりませんでしたが、また一つ思い出が増え嬉しく思います。お出かけだけに限らずライオンさんで過ごす残りわずかな時間を大切に、もっともっと楽しい・素敵な思い出を増やしていきたいと思っています。(ゆい)

